

博物館だより

No. 49

平成22年5月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

「館では「吉田健作と吉田増蔵展」を開催中です。吉田健作・増蔵兄弟は、みやこの町勝山上田の出身で、兄健作は近代製麻業の発展に尽力、弟増蔵（学軒）は元号「昭和」を創案するなど、いずれも近代日本の進展に大きな足跡を残しています。とくに弟増蔵に関しては、昨年当町で顕彰会が開催され、去る4月29日の「昭和の日」には記念のイベントとして「吉田学軒顕彰祭」が開催されたなど、地元を中心としたその業績が注目を浴びています。

今回兄弟ゆかりの資料約200点を再編成し分かりやすくご覧いただけるようしています。ぜひご来館下さること

大人	高校生以下	100円
5月期歴史講座の「」案	【漢詩文講座】	5月1日（土）
【古文書講座】	5月8日（土）	9..
【古典かな講座】	5月15日（土）	10..
【みやこ学講座】	5月22日（土）	00..
【金曜古文書講座】	10..	30..
5月28日（金）	00..	00..

開催期間
平成22年6月13日(日)まで



▲後列向って左が健作。中央は同郷の末松謙澄。
(1885年撮影)

みやこゆかりの先人展 近代製麻業創始の兄

元号「昭和」創案の弟

開催中

吉田増蔵展 Part2

▲「ミシタルミュージアム」の画面

HP「みやこ町デジタルミュージアム」閲覧

このほど、みやこ町の文化財や博物館の情報を紹介するホームページ「みやこ町デジタルミュージアム」が完成しました。

みやこ町の歴史と文化の魅力を
ご自宅のパソコンから気軽に検索できます。ぜひ1度ご覧下さい。
アドレスは www.miyako-museum.jp

みやこ町の文化財と博物館の
情報を満載したホームページ

MIYAKO TOWN **DIGITAL MUSEUM**

不自由に不監（だまし）

アーティスト名：さくらのひづる

答
三

〈ヒント〉 恵み

(反対向きに見てください

(1) 質疑
(2) 質問
(3) 質疑

恩序

卷之三

卷之三

孫
策

13
新

『古文書解読』一卷

みやこの歴史発見伝 38

近代「製麻業」創始の功労者

吉田 健作

よし

だ

吉田 健作

依頼第二大區 書記差免候事

明治八年一月六日

吉田 健作

生立ちから上京まで

吉田 健作は、現みやこ町勝山
上田出身で、内務省官僚として

日本の近代製麻業創始に多大な

貢献をした人物です。

健作は、嘉永5年（1852）
に、京都郡上田村で、父温次、
母イツとの間に生まれました。
父温次は、漢学者・村上仏山が
開いた私塾「水哉園」に学び、
後に地元の庄屋などを勤めた人
で、母イツは仲津郡山鹿村（現

みやこ町犀川山鹿）の出身で、
その父・山田利兵衛は山鹿村の
庄屋などを勤めた人物でした。
健作は、父温次と同様に水哉園
で学び、明治7年（1874）

に小倉県の職員となりました
が、翌年2月に上京。同年3月
に内務省勧業寮農学生となり、
5月には同省農務課勤務を命じ
られて、その内務官僚としての
人生が始まりました。

フランスへ

内務省で、殖産指導の技術者
として働いていた吉田健作は、
産業振興策の一つとして製麻業
を起こす必要性を感じ、亞麻の
栽培と製麻法の研究に没頭し始
めました。明治11年（1878）、
パリ万国博覧会開催に伴い、松
方正義（仏國博覧会副総裁）に
隨行して渡仏。フランスでは各
地を巡見のうえ、北部のリール
市で大規模な亞麻栽培農家にと
どまり、昼間は製麻技術の実地
研修、夜はフランス語、機械工
学、製図技術などについて寝食
を忘れて勉強しました。これに
より、吉田健作は、日本における
近代製麻業創始を主導する技
術者に成長するのですが、一方
で、この時の無理がたたり、以
後彼は、重い喘息の持病を抱え
ることになります。

した健作は、早速内務省で製麻
工場建設の意見書・予算書など

を上申し、同省では彼を実務の
中心として、製麻会社設立の調
査・準備にあたらせたのでした。

製麻会社設立と晩年

明治17年（1884）6月、

様々な曲折を経たのち、滋賀県
江之島製絲紡織会社の設立が許可

され、同19年11月に開業の運び

となりました。この、日本で最

初の製麻工場は吉田健作の献身

的努力があつたからこそ完成

したものでした。その後、健作

は北海道製麻会社（明治23年7
月開業）、栃木県の下野麻紡織
会社（同年4月開業）の設立も

指揮し、彼が夢見た近代製麻業



▲北海道製麻会社（明治23年7月開業）

（川本英紀）

吉田健作はフランス滞在中から
患つて喘息の悪化により他界しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、

吉田健作はフランス滞在中から

患つて喘息の悪化により他界

しました。41歳の若さでした。

第二次大戦後、化学繊維の普

及によって、麻布の需要は減少

し、健作が生きた時代と現代と

では、製麻業の持つ意味は大き

く変わりました。しかし、日本

の国力充実・殖産興業のため、
身を削つて製麻振興に取り組ん

だ吉田健作の名を、我々は忘れ

たくないものです。

しかし、それから間もない明

治25年（1892）2月5日、